

わが村・わが歴史

縄文

島内各所の遺跡の発掘調査により縄文時代早期に人々が住み始めたと思われる。

奈良

719 (養老 3 年) 多治比真人三宅麻呂が伊豆の島に配流される。このことによって三宅島という島名が生まれたという説がある。

平安

1085 (応徳 2 年) 三宅島大噴火。(記録にあらわれた第1回噴火)

南北朝

1471 (文明 3 年) 伊ヶ谷村が誕生する。

江戸

1613 (慶長18年) 初代代官中川九郎右衛門。
1684 (天保 4 年) 三宅島噴火。(第7回)元禄3年まで6年間燃え続ける。
1763 (宝暦13年) 三宅島噴火。(第8回)明和6年まで燃え続ける。(新瀨池形成)
1783 (天明 3 年) 伊豆村、阿古村、坪田村の百姓が自力で漁船を持つことが許される。
1795 (寛政 7 年) 三宅島各村に正式な名主が置かれる。
1835 (天保 6 年) 三宅島噴火。(第12回)
1856 (安政 3 年) 小金井小次郎配流。

明治

1876 (明治 9 年) 伊豆諸島が静岡県に属す。
1878 (明治11年) 伊豆諸島が東京府に属す。
1887 (明治20年) 小笠原島行き定期船が三宅島に寄港を開始する。
1903 (明治36年) 三宅島漁業組合が誕生する。
1908 (明治41年) 三宅島農会が設立される。

大正

1925 (大正15年) 三宅島に「ラジオ」が入る。

昭和

1929 (昭和 4 年) 三宅島電気会社設立、初めて電気点灯。
1931 (昭和 6 年) 三宅島島内電話が開通。
1940 (昭和15年) 三宅島大噴火。
1941 (昭和16年) 三宅島に中央气象台三宅島観測所設置。
1943 (昭和18年) 東京都制実施、三宅支庁開設。
1946 (昭和21年) 伊ヶ谷村、伊豆村、神着村が合併して三宅村発足。
1954 (昭和29年) 伊豆七島国定公園指定。
1955 (昭和30年) 三宅島に「テレビ視聴」第1号。
1956 (昭和31年) 2月●1日、町村合併法に基づき三宅村、阿古村、坪田村の3ヵ村が対等合併し、新たに「三宅村」が誕生。役場を大字伊豆友地に置く。初代村長に村上金之助氏就任。
4月●財政再建整備法適用。
11月●三池商港改修工事開始。
●村立保育園5ヵ所開設。
1957 (昭和32年) 2月●大字阿古に役場を移転。
3月●隔離病舎完成。
10月●神着地区未曾有の豪雨大水害、間川橋落下。
11月●三宅島観光協会発足。
1958 (昭和33年) 2月●大字坪田に役場を移転。
3月●阿古保育園新築。
●伊ヶ谷簡易水道(共用栓)布設。
●三宅村図書館建設。
9月●台風22号襲来により、学校、港湾、道路、民家等罹災。
12月●昼夜送電開始。
1959 (昭和34年) 3月●伊ヶ谷保育園新築。
12月●役場位置大字坪田沖ヶ平に決定。

●伊豆、伊ヶ谷、阿古、坪田各小学校創立80周年記念式典挙行。
●カムリウミスズメ保護のため米軍射撃演習(大野原島)中止。
●大字伊ヶ谷湯の浜、温泉試掘。
●離島振興計画に三宅島空港採択。
●神着大字門の原に役場を移転。
1960 (昭和35年) 2月●2代目村長に村上金之助氏就任。(再選)
●三宅村役場落成。
10月●浅沼稲次郎氏(社会党委員長)講演中暴漢に刺殺。(三宅島出身)村葬。
11月●三宅村図書館開館。
●伊豆保育園新築。
●キヌサヤエンドウ栽培開始。
●ウェットスーツ着用の天草採取開始。
1961 (昭和36年) 3月●錆ヶ浜に接岸港完成。
●神着保育園新築。
●三池地区簡易水道(共用栓)布設。
●財政再建完了。
1962 (昭和37年) 3月●坪田地区簡易水道(各戸給水)布設。
4月●第1次農業改善事業着手。(村営牧場)
8月●雄山大噴火。(24日)
9月●漁業権の行使に関し、天草騒動起こる。
1963 (昭和38年) 2月●伊ヶ谷農協に初めて製茶工場開設。
4月●都立三宅高校に全日制家政科設置。
●三宅島空港開設工事着手。
6月●伊豆小学校にへき地集会所開設。
9月●三宅島測候所雄山山頂の噴気観測を開始。
●伊ヶ谷小学校にへき地集会所開設。
1964 (昭和39年) 2月●3代目村長に三池忠信氏就任。
7月●伊豆七島国定公園より富士箱根伊豆国立公園に編入。
●村営建材事業開始。
9月●湯の浜漁港修築工事着手。
●都衛生局より巡回診療班来島、以後毎年実施。
10月●阿古港、接岸岸壁完成。12月30日大型船たちばな丸最初の接岸。
1965 (昭和40年) 3月●神着、大久保地区に簡易水道布設。
12月●島内5農協合併。三宅島農業協同組合発足。
1966 (昭和41年) 3月●三池商港接岸棧橋完成。
●三宅島空港完成。
6月●各小学校6年生修学旅行を開始。
●農協牛乳工場完成。
9月●小・中学校完全学校給食開始。
1967 (昭和42年) 5月●村医田中達男氏逝去。村葬。
6月●三宅中学校開校20周年記念式典挙行。
10月●美濃部都知事来島、対話集会開催。
12月●初代村長村上金之助氏逝去。村葬。
1968 (昭和43年) 2月●4代目村長に浅沼潤吉氏就任。
3月●農業構造改善事業完成。(村営牧場)
●阿古地区簡易水道布設。
5月●三宅島ロッジ完成。
10月●地籍調査開始。
●神着小学校創立90周年記念式典挙行。
●三宅中学校に島最初のプール完成。
11月●浅沼潤吉村長殉職。村葬。
●5代目村長に大沼良三氏就任。
●三宅島社会福祉協議会発足。
●阿古小学校創立90周年記念式典挙行。
1969 (昭和44年) 6月●三宅村の紋章決定。(平松讓氏図案作製)
●三宅中学校鉄筋コンクリート2階建校舎建設。
7月●阿古小・中学校共用プール完成。
8月●東京都防災訓練三宅島で実施。噴火災害想定。美濃部都知事来島。
12月●村民の日2月1日に決定。
1970 (昭和45年) 2月●第1回村民の日記念行事実施。
4月●農業共済組合業務事業を村に移管。
●長野県高遠町と友好町村提携。

- 1971 (昭和46年)
- 5月●坪田診療所新築。
 - 6月●島内最初の交通信号機役場前に設置。
●坪田小・中学校共用プール完成。
 - 8月●伊豆、伊ヶ谷、阿古、坪田の民俗芸能、都無形文化財に指定。
 - 10月●5漁業協同組合併。
 - 3月●三池地区簡易水道各戸給水開始。
 - 4月●三宅電報局新築。ダイヤル式開通。
●阿古小学校校舎増築。
●三宅中学校体育館建設。
●坪田中学校体育館建設。
●三宅村消防本部設置。
 - 6月●三宅村商工会発足。
 - 7月●焼却炉建設、ゴミ処理業務開始。
 - 9月●神着、伊豆、伊ヶ谷3小学校を統廃合し、三宅小学校創立。
 - 10月●第1回三宅島郷土芸能まつり開催。
●雄山山頂縦断道路完成。
- 1972 (昭和47年)
- 2月●消防本部に救急自動車を配置。
●議員定数22名を16名に減員。
 - 3月●簡易水道東山地区給水開始。
●三宅高校定時制課程廃止。
●三宅小学校統合校舎完成。スクールバス運行開始。
●阿古中学校体育館完成。
●神着診療所新築。
 - 5月●坪田診療所開設。
 - 8月●24日、防災訓練実施。
 - 9月●三宅小学校プール完成。
- 1973 (昭和48年)
- 11月●6代目村長に大沼良三氏就任。(再選)
 - 1月●全国町村会より優良町村として表彰。
 - 2月●消防本部に無線局開設。
●都行政ヘリコプター運行開始。
●伊ヶ谷老人福祉館建設。
●三宅小学校体育館完成。
 - 3月●阿古診療所改築。
●育苗センター設置。
 - 7月●交通安全島宣言。
●温泉給湯施設完成。希望家庭に給湯。
 - 11月●三宅勤労福祉会館完成。
●大崎自動車道、自衛隊により着工。
- 1974 (昭和49年)
- 3月●伊ヶ谷診療所改築。
 - 10月●大東京祭に三宅島郷土芸能保存連合会参加。
 - 11月●第1回村民体育祭開催。
●地域福祉センター建設。
●基本構想議決。
- 1975 (昭和50年)
- 1月●公民館建設。
●坪田出張所新設。
 - 2月●三宅村合併20周年記念式典挙行。
 - 3月●「三宅島の埋蔵文化財」発刊。
●伊豆老人福祉館建設、伊豆診療所併設。
●阿古中学校鉄筋2階建校舎に改築。
 - 11月●イタチの試験放獣実施。
●トサカノリ採取販売開始。
- 1976 (昭和51年)
- 1月●葉師堂、木造薬師坐像他3件が、都文化財に指定。
 - 4月●歯科診療所開設。
 - 7月●坪田小学校校舎鉄筋2階建に改築。
●村議会に航路港湾問題対策特別委員会を設置。
 - 11月●7代目村長に大沼良三氏就任。(再選)
●元地役人壬生家が郷土資料館として一般公開。
- 1977 (昭和52年)
- 3月●坪田中学校新校舎落成。
●全小・中学校校舎鉄筋化完了。
●空港拡張工事完了。
 - 4月●「三宅島民政資料」(浅沼和男氏所有)が都有形文化財に指定。
●阿古小学校に訪問学級新設。
 - 6月●坪田中学校創立30周年記念式典挙行。
- 1978 (昭和53年)
- 8月●湯の浜、坪田、阿古漁港第6次修築工事着工。
 - 11月●浅沼金一郎氏第1号名誉村民。
 - 1月●伊豆諸島東京都移管百周年記念碑建立。
 - 2月●村のシンボル決定。三宅村の木「椎」、花「ガクアジサイ」、鳥「アカコッコ」に指定。
●基本計画策定。
 - 3月●神着老人福祉館落成。
●三宅村体育館落成。
●農協製茶工場落成。
●歯科診療所改築。
●坪田保育園改築。
●阿古小学校特別教室3階建を増築。
●坪田の風俗慣習「ヨミンチャラ」都無形民俗文化財に指定。
●三宅島神事「富賀神社めぐり神輿」「御祭神社神事」「御筋神社神事」都無形文化財に指定。
 - 4月●ストレッチャー丸就航。(3,700トン)
●阿古中学校心障学級開設。
●空路が全日空より日本近距離航空に移行。
6月より1日2便就航。
 - 9月●阿古漁港第2泊地開港(昭和26年より27年間6次に及ぶ工事完了)
 - 10月●流人小金井小次郎の縁をもち小金井市と友好都市盟約に調印。
 - 11月●阿古小学校開校百周年記念式典挙行。
●国重要文化財坪田海蔵寺「銅造観音菩薩立像」25年3ヶ月ぶりに帰島。
- 1979 (昭和54年)
- 3月●阿古中学校特別教室増築。
 - 4月●住所表示を改正。(字名より番地表示へ)
 - 5月●笠地区農業用貯水池完成。
 - 6月●浅沼稻次郎氏(島出身)の銅像、神着児童公園内に建立。
 - 10月●防災行政無線開局。
●台風20号により温泉、港湾、道路等罹災。
 - 11月●坪田小学校開校百周年記念式典挙行。
- 1980 (昭和55年)
- 1月●巡回入浴車派遣事業開始。
 - 2月●温泉施設復旧。
●名誉村民浅沼金一郎氏逝去。(1日)村葬。
 - 3月●三宅小学校特別教室増築。
●「三宅島神事芸能」発刊。
 - 4月●企業課事務所新築。
●阿古中学校訪問学級開設。
 - 11月●8代目村長に山本喜久治氏就任。
●村営牧場にレストハウス完成。
- 1981 (昭和56年)
- 7月●神着島下にあじさい園造成。
●阿古漁港に荷捌施設完成。
●漁協合併10周年記念式典挙行。
- 1982 (昭和57年)
- 11月●商工会に婦人部発足。
 - 3月●阿古保育園改築。
●坪田小学校体育館建設。
●神着、伊豆、伊ヶ谷田小学校跡地に記念碑建立。
- 1983 (昭和58年)
- 3月●学校給食共同調理場建設。
●大久保漁港都に移管。
 - 8月●雄山噴火を想定し、東京都防災訓練を実施。
 - 10月●二男山、新濤池、新鼻大噴火。
●阿古地区330世帯、公共施設等埋没、死亡者ゼロ。(3日)
●神着湯舟に仮設住宅10棟50戸建設。
- 1984 (昭和59年)
- 11月●阿古下鑄に仮設住宅58棟290戸建設。
 - 3月●坪田小学校増築。
●阿古小・中学校仮設校舎建設。
●坪田地区噴火災害に伴う降灰除去完了。
 - 4月●伊ヶ谷保育園休園。(園児は伊豆保育園に通園)
 - 10月●神着老人福祉館内に仮設歯科診療所開設。
 - 11月●9代目村長に寺澤晴男氏就任。
 - 12月●阿古保育園噴火災害復旧工事完了。
- 1985 (昭和60年)
- 3月●噴火災害防災集団移転事業完了。

わが村・わが歴史

1986 (昭和61年)	6月●阿古小・中学校噴火災害復旧工事着工。 11月●仮設住宅解体作業完了。 2月●三宅村合併30周年記念式典挙行。 3月●阿古小・中学校校舎、体育館完成。 ●阿古出張所完成。 7月●村議会議員解職投票。(2村議の解職成立) 9月●村議会議員補欠選挙執行。 11月●三宅島噴火災害復興記念式典挙行。 ●58年二男山噴火に伴い中止されていた第13回郷土まつりが4年ぶりに開催。		
1987 (昭和62年)	3月●坪田中学校体育館完成。 4月●日本近距離航空がエア・ニッポンに社名変更。 5月●神着、伊豆、伊ヶ谷保育園を統合して、みやげ保育園開園。		
1988 (昭和63年)	1月●全国町村会より優良町村として表彰。 3月●三宅中学校体育館完成。 11月●第1回三宅島産業祭開催。 ●10代目村長に寺澤晴男氏就任。(再選)	2001 (平成13年) 2002 (平成14年)	災害対策本部設置⇒同30日廃止。 7月●雄山山頂で小規模噴火、火山灰噴出、山頂の陥没開始。 ●14代目村長に長谷川鴻氏就任。 9月●全島避難を決定。(9月2日～4日一般島民島外避難完了) 9月●島民一時帰宅事業開始。 4月●島民日帰り帰宅事業開始。 8月●児童・生徒の一時帰宅実施。 9月●「三宅島火山ガスに関する検討会」を設置。 12月●「第4次三宅村総合計画」策定。 3月●三宅村活動火山対策避難施設完成。 4月●三宅島寄港便滞在型帰宅事業開始。 2月●15代目村長に平野祐康氏就任。 2月●避難指示解除。「三宅島帰島第一陣出発式」 4月●みやげ保育園再開。 ●三宅村立小・中学校(合同体制)各1校で再開。 ●都立三宅高等学校再開。 6月●ヘリコプター「東京愛らんどシャトル」運航再開。 8月●復興対策本部設置。 2月●帰島1周年「村民の日」記念事業。 3月●天皇皇后両陛下三宅島を行幸啓。 3月●三宅村立小・中学校(阿古・坪田・三宅)閉校。 4月●三宅村立三宅小・中学校新設開校。 ●特別養護老人ホーム「あじさいの里」再開。 5月●定置網漁の再開。 6月●温泉施設「ふるさとの湯」再開。 7月●三宅村コミュニティセンター開所。 8月●定期船「かめりあ丸」伊ヶ谷漁港へ初入港。 11月●「チャレンジ三宅島'07モーターサイクルフェスティバル」開催。
平成			
1989 (平成元年)	3月●三宅村非核平和宣言を議決。 6月●三宅村国保直営中央診療所完成。 7月●大路池の「迷子稚」が都内巨木ベスト7位。 10月●村役場第2・第4土曜日が閉庁。	2006 (平成18年)	
1990 (平成2年)	1月●三宅村の面積が55.50km ² に変更。 5月●第3回伊豆諸島・小笠原駅伝競走大会の開催。 6月●東京都三宅島空港の整備に関する調査を実施。(整備を進める72.75%) 12月●防災行政無線施設整備事業で各家庭に戸別受信機を設置。	2007 (平成19年)	
1991 (平成3年)	2月●11代目村長に桑原秀雄氏就任。 ●村議会議員補欠選挙執行。 7月●三宅村役場新庁舎建設着工。 ●三七山スポーツ公園オープン。 10月●三宅島噴火災害を想定した、東京都・三宅村合同防災訓練を実施。	2008 (平成20年)	
1992 (平成4年)	3月●三宅小学校体育館改築。 ●三宅村営火葬場完成。 5月●都道三宅循環線「大船戸大橋」完成。 7月●平松讓氏第2号名誉村民。	2009 (平成21年)	
1993 (平成5年)	2月●三宅村役場新庁舎落成。 4月●三宅村商工会館新築落成。 7月●三宅島自然ふれあいセンター「アカコッコ館」開館。 10月●三宅村シルバー人材センター発足。 11月●三宅島噴火災害復興10周年記念式典挙行。	2010 (平成22年)	
1994 (平成6年)	4月●特別養護老人ホーム「あじさいの里」開所。	2011 (平成23年)	
1995 (平成7年)	2月●12代目村長に桑原秀雄氏就任。(再選) 7月●「ふるさとの湯」オープン。 12月●指定金融機関開設。	2012 (平成24年)	
1996 (平成8年)	5月●村制施行40周年記念式典挙行。 ●都知事と都政を語るつどい開催。 青島都知事来島。 7月●13代目村長に廣瀬直行氏就任。	2013 (平成25年)	
1997 (平成9年)	4月●リフレッシュふるさと館オープン。 ●社団法人三宅村シルバー人材センター設立。 6月●三宅村教育相談室開設。		
1998 (平成10年)	2月●横田政次氏第3号名誉村民。 4月●三宅村インフォメーションセンター開館。 5月●三宅島自然ふれあいセンターアカコッコ館開館5周年記念国際シンポジウム「エコツーリズムと島の鳥」開催。 7月●三宅村ふれあい広場オープン。 10月●「三宅島の航空路を確保し推進する会」発足。 11月●阿古小学校開校120周年記念式典挙行。		
1999 (平成11年)	4月●都道三宅循環線「友地橋」完成。 5月●第12回伊豆諸島・小笠原駅伝競走大会の開催。		
2000 (平成12年)	6月●緊急火山情報第1号。		
			2006 (平成18年) 2007 (平成19年) 2008 (平成20年) 2009 (平成21年) 2010 (平成22年) 2011 (平成23年) 2012 (平成24年) 2013 (平成25年)

- 2014 (平成26年)
 - 10月●第68回国民体育大会トライアスロン競技会開催。
 - 12月●三池・沖ヶ平地区を分割、三池地区準居住地区規制解除。
 - 3月●全日本空輸撤退に伴い三宅島～羽田路線休止
 - 人工透析治療開始
 - 4月●新中央航空による三宅島～調布路線開設
 - 6月●橘丸就航 (5,681トン)
 - 11月●坪田の「坪田観音」、伊ヶ谷の「さかえばし」を村指定文化財に指定
- 2015 (平成27年)
 - 2月●帰島10周年を迎える
 - 三宅村・御蔵島村災害時等相互応援に係る覚書締結
 - 6月●噴火警戒レベル2から1に引き下げ
 - 7月●帰島10周年記念式典挙行
 - 三宅村文化会館完成式典挙行
 - 村民憲章制定
 - 関東地方整備局と災害時情報交換協定締結
 - 9月●沖ヶ平地区準居住地区規制解除
 - 10月●東京都・三宅村・御蔵島村合同防災訓練実施
- 2016年 (平成28年)
 - 2月●18代目村長に櫻田昭正氏就任 (再選)
 - 3月●三宅村レクリエーションセンター リニューアルオープン
 - 4月●群馬県みなかみ町と友好交流に関する覚書締結
 - 旧阿古保育園が「三宅村阿古福祉会館」に、旧坪田小学校が「三宅村坪田福祉会館」に変更
 - 5月●三宅村農業委員会が始動
 - 10月●三宅村議会主催の「東京都島しょ町村議員セミナー」開催

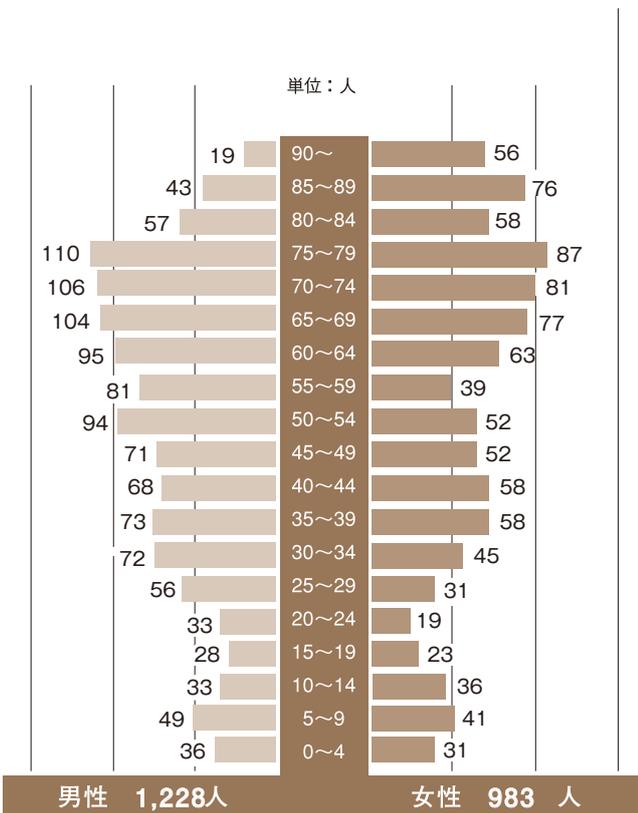
- 第23回東京都島しょPTA連絡協議会合同研修会 三宅島・御蔵島大会開催
- 11月●東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー歓迎セレモニー開催
- 2017年 (平成29年)
 - 4月●大路池展望台完成
 - 11月●「地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰」において団体表彰を受ける
- 2018年 (平成30年)
 - 9月●三宅島社会福祉協議会法人化50周年式典挙行
 - 10月●三宅高校創立70周年記念行事挙行
 - 11月●愛らんどシャトル三宅島空港発着再開
- 2019年 (平成31年)
 - 3月●小金井市友好都盟約締結40周年記念「千本さくら」植樹

令和

- 2019年 (令和元年)
 - 9月●一般社団法人日本自動車連盟(JAF)と観光協定締結
 - 10月●三宅村火葬場完成 (伊ヶ谷スミズリ地内)
- 2020年 (令和2年)
 - 2月●19代目村長に櫻田昭正氏就任 (三選)
- 2021年 (令和3年)
 - 7月●東京2020オリンピック聖火リレー 三宅村ミニセレブレーション
 - 11月●高遠町町村友好盟約50周年記念 生島新五郎墓地改修
 - 11月●第6次三宅村総合計画策定
- 2022年 (令和4年)
 - 7月●伊那市友好町村盟約50周年記念 親善交流記念式典
 - 8月●御焼の黄泉の椎・補陀落の椎 三宅村指定天然記念物に指定)
- 2023年 (令和5年)
 - 5月●三宅村坪田分団詰所が新築落成
- 2024年 (令和6年)
 - 2月●20代目村長に山高亜紀子氏就任
 - 5月●三宅村合葬墓が完成

人口

●年齢・男女別人口構成 (令和7年1月1日現在・外国人含む)



●人口動態 (各年1月1日現在・平成25年より外国人含む)

年	男	女	男女計(人)
令和6	1,247	1,007	2,254
令和5	1,273	1,028	2,301
令和4	1,314	1,048	2,362
令和3	1,319	1,064	2,383
令和2	1,331	1,094	2,254
平成31	1,356	1,125	2,481
平成30	1,620(世帯)	1,367	2,538
平成29	1,649(世帯)	1,404	2,583
平成28	1,699(世帯)	1,409	2,619
平成27	1,699(世帯)	1,461	2,714
平成26	1,742(世帯)	1,476	2,738
平成25	1,750(世帯)	1,494	2,782
平成24	1,735(世帯)	1,511	2,775
平成23	1,739(世帯)	1,521	2,799
平成22	1,744(世帯)	1,516	2,815
平成21	1,741(世帯)	1,538	2,849
平成20	1,758(世帯)	1,556	2,897

●出生死亡・転入転出 (令和5年度年間件数)

出生	死亡	転入	転出
11件	42件	191件	193件

行政・議会

村議会の議員定数は、平成24年2月の改選より8名と定めている。
また、各議員は総務文化・経済厚生常任委員会等に所属して活動を行っている。
定例会は3月、6月、9月、12月の年4回開催されている。



議長
谷 寿文



副議長
北川 博史

村議会議員

(令和6年2月26日現在)

議席番号	氏名	性別	当選回数	住所	党派別
1	北川 博史	男	2	三宅村阿古700-42	無
2	高松 秀直	男	1	三宅村伊ヶ谷390-2	無
3	曾我部宏一	男	2	三宅村坪田1085-1	無
4	佐久間正文	男	3	三宅村阿古2207-2	無
5	沖山 肇	男	3	三宅村阿古17	無
6	平川 大作	男	5	三宅村坪田3028	共
7	-	-	-	-	-
8	谷 寿文	男	7	三宅村阿古716	無

歴代議長

歴順	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	浅沼金一郎	昭和31. 2. 25	昭和33. 4. 1
2	笹本 亀治	昭和33. 5. 9	昭和35. 2. 24
3	池田平太郎	昭和35. 2. 28	昭和37. 2. 28
4	平松岡太郎	昭和37. 2. 28	昭和38. 6. 29
5	福澤 聖一	昭和38. 6. 29	昭和39. 2. 24
6	福澤 聖一	昭和39. 2. 29	昭和41. 2. 22
7	高松 隆	昭和41. 2. 22	昭和43. 2. 24
8	高松 隆	昭和43. 2. 26	昭和45. 2. 27
9	大年 善吉	昭和45. 2. 27	昭和47. 2. 24
10	杉山 友親	昭和47. 3. 3	昭和49. 3. 12
11	浅沼 義人	昭和49. 3. 12	昭和51. 2. 24
12	浅沼 興	昭和51. 3. 1	昭和53. 3. 10
13	沖山 芳夫	昭和53. 3. 10	昭和55. 2. 24
14	長谷川 鴻	昭和55. 2. 29	昭和57. 2. 27
15	田中 平雄	昭和57. 2. 27	昭和59. 2. 24
16	浅沼 博忠	昭和59. 3. 1	昭和61. 2. 17
17	浅沼 博忠	昭和61. 2. 19	昭和63. 2. 24
18	浅沼 博忠	昭和63. 2. 29	平成 2. 3. 30
19	浅沼功一郎	平成 2. 3. 30	平成 4. 2. 24
20	前田 玄	平成 4. 2. 25	平成 6. 2. 24
21	前田 玄	平成 6. 2. 25	平成 8. 2. 24
22	鈴木 博	平成 8. 2. 28	平成 8. 3. 29
23	浅沼功一郎	平成 8. 3. 29	平成10. 3. 4
24	梅田 政男	平成10. 3. 4	平成12. 2. 24
25	梅田 政男	平成12. 2. 25	平成12. 12. 15
26	山田 和快	平成12. 12. 15	平成14. 3. 28
27	山田 和快	平成14. 3. 28	平成16. 2. 24
28	高松 啓展	平成16. 2. 25	平成18. 3. 17
29	高松 啓展	平成18. 3. 17	平成20. 2. 24
30	高松 啓展	平成20. 2. 25	平成21. 4. 16
31	佐久間達己	平成21. 4. 22	平成24. 2. 7
32	平野 辰昇	平成24. 2. 27	平成28. 2. 24
33	谷 寿文	平成28. 2. 25	令和 2. 2. 24
34	谷 寿文	令和 2. 2. 25	令和 6. 2. 26
35	谷 寿文	令和 6. 2. 26	

歴代副議長

歴順	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	沖山宗之助	昭和31. 2. 25	昭和33. 4. 1
2	田中 平雄	昭和33. 5. 9	昭和35. 2. 29
3	福西 保	昭和35. 2. 29	昭和37. 2. 28
4	平野 良吉	昭和37. 2. 28	昭和38. 6. 29
5	福西 保	昭和38. 6. 29	昭和39. 2. 24
6	浅沼 義人	昭和39. 2. 29	昭和41. 2. 22
7	浅沼 弘道	昭和41. 2. 23	昭和43. 2. 24
8	浅沼 弘道	昭和43. 2. 26	昭和45. 2. 29
9	上松 正成	昭和45. 2. 27	昭和47. 2. 24
10	長谷川 鴻	昭和47. 3. 3	昭和49. 3. 12
11	宮下 正一	昭和49. 3. 12	昭和51. 2. 24
12	池田 孝司	昭和51. 3. 1	昭和53. 3. 10
13	山本 輝治	昭和53. 3. 10	昭和55. 2. 24
14	浅沼 博忠	昭和55. 2. 29	昭和57. 2. 27
15	壬生 泰麿	昭和57. 2. 27	昭和59. 2. 24
16	浅沼功一郎	昭和59. 3. 1	昭和61. 2. 17
17	浅沼功一郎	昭和61. 2. 17	昭和63. 2. 24
18	浅沼功一郎	昭和63. 2. 29	平成 2. 3. 30
19	前田 玄	平成 2. 3. 30	平成 4. 2. 24
20	田中 勘一	平成 4. 2. 25	平成 6. 2. 24
21	田中 勘一	平成 6. 2. 25	平成 8. 2. 24
22	廣瀬 直行	平成 8. 2. 28	平成 8. 3. 29
23	廣瀬 直行	平成 8. 3. 29	平成 8. 7. 12
24	梅田 政男	平成 8. 8. 9	平成10. 3. 4
25	浅沼 修吾	平成10. 3. 4	平成12. 2. 24
26	寺本 恒夫	平成12. 2. 25	平成12. 12. 15
27	高松 啓展	平成12. 12. 15	平成14. 3. 28
28	高松 啓展	平成14. 3. 28	平成16. 2. 24
29	佐久間達己	平成16. 2. 25	平成18. 3. 17
30	佐久間達己	平成18. 3. 17	平成20. 2. 24
31	佐久間達己	平成20. 2. 25	平成21. 4. 22
32	平野 辰昇	平成21. 4. 22	平成24. 2. 24
33	長谷川一也	平成24. 2. 27	平成28. 2. 24
34	石井 肇	平成28. 2. 25	令和 2. 2. 24
35	石井 肇	令和 2. 2. 25	令和 2. 2. 25
36	北川 博史	令和 6. 2. 26	



村長
山高 亜紀子



副村長
吉田 稔彦

歴代助役

歴順	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	寺本順一郎	昭和31. 3. 1	昭和35. 2. 29
2	石原 忠一	昭和35. 3. 22	昭和39. 1. 24
3	早川 孝吉	昭和39.12. 4	昭和43. 1. 31
4	大沼 良三	昭和43. 3. 8	昭和43.11.21
5	島澤 晴男	昭和44. 7. 26	昭和48. 7. 25
6	島澤 晴男	昭和48. 7. 26	昭和52. 7. 25
7	島澤 晴男	昭和52. 7. 26	昭和56. 7. 25
8	長谷川好信	昭和56.12. 1	昭和59.11.27
9	山本 幸蔵	昭和60. 7. 18	昭和63.11.26
10	平野 充	平成 1. 5.12	平成 3. 4.30
11	西山 税	平成 3. 5. 2	平成 7. 5. 1
12	西山 税	平成 7. 6.28	平成 8. 7.20
13	佐久間寛次	平成 8.10. 7	平成12.10. 6
14	野村 忠司	平成13. 2. 1	平成16. 2.14
15	穂積 憲重	平成16. 3. 1	平成20. 2.28

副村長

16	佐藤 信秀	平成20. 4. 1	平成22. 7.15
17	池山 秀利	平成22. 7.16	平成25. 3.31
18	内田 峰夫	平成25. 4. 1	平成28. 3.31
19	飯田 啓介	平成28. 4. 1	平成30. 3.31
20	高塚 邦夫	平成30. 4. 1	令和 4. 3.31
21	吉田 稔彦	令和 4. 4. 1	

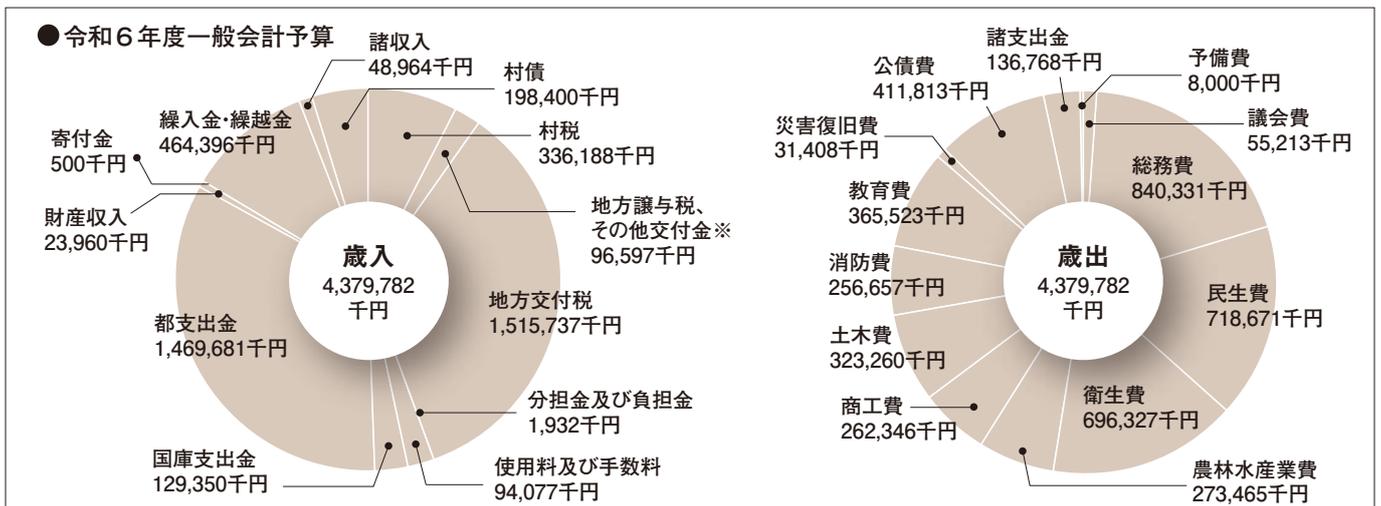
歴代村長

歴順	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	村上金之助	昭和31. 2.18	昭和35. 2.18
2	村上金之助	昭和35. 2.19	昭和39. 2.18
3	三池 忠信	昭和39. 2.19	昭和43. 2.18
4	浅沼 潤吉	昭和43. 2.19	昭和43.10.31
5	大沼 良三	昭和43.11.28	昭和47.11.27
6	大沼 良三	昭和47.11.28	昭和51.11.27
7	大沼 良三	昭和51.11.28	昭和55.11.27
8	山本喜久治	昭和55.11.28	昭和59.11.27
9	寺澤 晴男	昭和59.11.28	昭和63.11.27
10	寺澤 晴男	昭和63.11.28	平成 3. 1.28
11	桑原 秀雄	平成 3. 2. 5	平成 7. 2. 4
12	桑原 秀雄	平成 7. 2. 5	平成 8. 6.20
13	廣瀬 直行	平成 8. 7.20	平成12. 7.19
14	長谷川 鴻	平成12. 7.20	平成16. 2.14
15	平野 祐康	平成16. 2.15	平成20. 2.14
16	平野 祐康	平成20. 2.15	平成24. 2.14
17	櫻田 昭正	平成24. 2.15	平成28. 2.14
18	櫻田 昭正	平成28. 2.15	令和 2. 2.14
19	櫻田 昭正	令和 2. 2.15	令和 6. 2.14
20	山高亜紀子	令和 6. 2.15	

歴代収入役

歴順	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	高松 浩	昭和31. 3. 1	昭和35. 2.29
2	筑波 彬	昭和35. 6.16	昭和39. 6. 1
3	山本 政秀	昭和39.12. 4	昭和43. 5.31
4	村上 忠治	昭和43. 5.25	昭和47. 6.24
5	彦坂 茂保	昭和47.12.19	昭和51.12.18
6	彦坂 茂保	昭和52. 1.10	昭和52.11.21
7	長谷川好信	昭和52.12. 1	昭和56.11.30
8	山本 幸蔵	昭和56.12. 1	昭和59.11.27
9	村上 孝	昭和60. 8. 1	平成 1. 7.31
10	島沢 行	平成 1. 8.25	平成 5. 8.24
11	島沢 行	平成 5.11.15	平成 7. 6. 8
12	山田 結璋	平成 7. 8.11	平成 8. 7.20
13	山田 結璋	平成 8.10.15	平成12. 7.18
14	宮澤 秀介	平成13. 2. 1	平成16. 2.14
15	元木 正春	平成16. 4. 1	平成20. 3.31

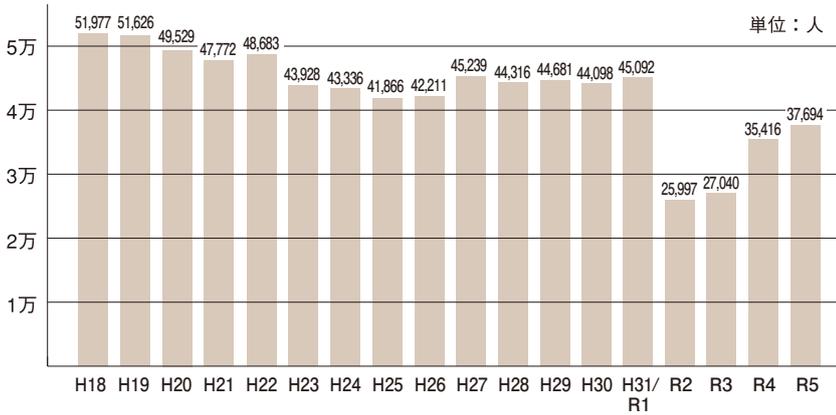
※地方自治法の改正により収入役制度を平成20年3月31日をもって廃止。



※その他交付金=利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

産業

●年間観光客数



●産業別就業人口 (令和2年国勢調査) 単位：人

産業 (大分類)	就業者数
第1次産業	47
農業	47
林業	3
漁業	29
第2次産業	228
建設業	228
製造業	19
第3次産業	1178
電気・ガス・水道業	11
運輸・郵便・情報通信業	90
卸売・小売業	109
金融・保険・不動産・物品賃貸業	11
宿泊・各種サービス・娯楽業	330
教育・学習支援業・医療・福祉	199
公務	186
分類不能の産業	16
合計	1278

●業種別商工業者数 (令和5年4月1日現在 三宅村商工会より)

地区	業種	建設業	製造業	卸・小売業	金融保険業	運輸通信業	電気・ガス水道業	サービス業	その他	地区別計
神着		8	3	8	2	3	0	26	3	53
伊豆		4	2	4	0	2	1	7	0	20
伊ヶ谷		1	1	1	0	0	0	4	0	7
阿古		15	1	21	0	4	0	45	1	87
坪田		9	3	14	0	1	0	35	2	64
計		37	10	48	2	10	1	117	6	231

●産業別就業人口の推移 (国勢調査より) 単位：人

年次	区分	総人口	就業者総数	第1次産業	第2次産業	第3次産業	分類不能の産業	第1次産業	第2次産業	第3次産業	分類不能の産業
令和2年		2,273	1,278	79	247	936	16	6.2%	19.3%	73.2%	1.3%
平成27年		2,482	1,413	100	282	1,014	17	7.1%	19.9%	71.8%	1.2%
平成22年		2,676	1,499	105	317	1,037	40	7%	21.1%	69.2%	2.7%
平成17年		2,439	1,289	80	320	886	3	6.2%	24.8%	68.7%	0.2%

※平成12年度国勢調査は、全島避難のため実施実績なし。

平成7年	3,831	2,032	305	440	1,287	—	15.0%	21.7%	63.3%
昭和60年	4,167	2,155	307	501	1,346	—	14.3%	23.2%	62.5%
昭和50年	4,631	2,186	459	369	1,346	—	21.0%	16.9%	61.6%
昭和40年	5,629	2,246	849	460	937	—	37.8%	20.5%	41.7%

●農家戸数、農家人口及び就業人口 (令和2年農林業センサスより) 単位：戸、人

項目	農家戸数						就業人口		
	総数	販売農家	主業	準主業	副業	自給的農家	総数	男	女
三宅村	49	21	5	2	15	28	33	20	13

●漁家戸数、就業人口 (平成30年漁業センサス) 単位：戸、人

漁家戸数				漁家人口
総数	専業	第1種	第2種	総数
29	0	17	12	44

村勢要覧資料集

東京都三宅村

TEL.04994(5)0981 FAX.04994(5)0932 Email:miyake03@vill.miyake.tokyo.jp

発行 ■東京都三宅村 〒100-1211東京都三宅島三宅村坪田1774 (三宅村役場 臨時庁舎 〒100-1212 東京都三宅島三宅村阿古497)

発行日 ■令和7年3月 / 印刷 ■明誠企画(株)

<http://www.vill.miyake.tokyo.jp>